

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス猿のたまごリバーサイド		
○保護者評価実施期間	令和6年 6月 1日		～ 令和6年 7月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 24名
○従業者評価実施期間	令和6年 6月 1日		～ 令和6年 7月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 9月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者評価集計シートでは、チェック項目29項目のうち14項目に於いて9割を超える利用者に高評価を頂いており、26項目に於いて7割を超える利用者に評価をして頂いています。特に満足度に於いて保護者からの高い評価を得ています。個別支援計画の徹底と共有やコミュニケーションの強化に努めています。	児童・生徒の個性やニーズに合わせた個別支援計画を作成し、それを保護者と共有し、定期的な面談(家庭訪問)や連絡を通じて、利用児童の状況を具体的に伝え、保護者の不安を解消出来るように努めています。	個別支援計画を短期目標と長期目標を明確にしたり、定期的な見直しを行っていく事で、さらに成長を実感していただけるよう努めていきたいと考えています。
2	安全・安心な環境の提供。	施設の安全点検や防災訓練などを行っています。	災害の種類ごとにどのような避難や防災体制が必要かを利用者の特性を捉えて実施していく予定です。
3	興味関心の多様化に対する取り組み。	利用児童の興味関心に合わせた様々な遊びや学習、またイベント等をスタッフが提供することで、意欲を引き出し、充実した時間を過ごせるようにしています。 特にイベントについては、年に一度は保護者やご家族も参加できるように考えています。	タブレット端末などは、数に限りがあり順番になってしまうので、交代で利用していますが、日々成長し変化する利用児童の興味については、コミュニケーションを取りながら日常生活のスキルアップや、将来の自立に向けた支援を講じる事が必要と考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境・体制整備面での、こどもの活動等のスペースの確保と、職員の配置数について。	リバーサイドの施設に置きましたは、物理的なスペースと必要な職員数で限られたスペースの確保が出来ていないと感じられているようです。	南千住の施設もオープンし、2拠点体制となりましたので、利用者の配置や共同で出来る屋外での活動等の相互効果での取組めるよう考えています。スペースの確保については、保護者の不安とならないように丁寧に説明します。
2	事業者用自己評価シートに於ける関係機関との連携について 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解についての取り組みはほとんどありません。	相談支援専門員との情報共有は積極的に行っていますが、就学前の利用箇所については、必要に応じて情報を求める体制なので、相互理解という面での課題があります。	関係機関と利用児童の情報については、表面的には聞き取りは出来ますが、関係機関の持つ情報の取得について事前にすべての情報を共有し取得する方法が乏しいです。常日頃より情報提供を自ら行い、連携を密にして改善を図ってきたいと考えています。
3	第三者による外部評価は時間的な余裕がないため、実施できていません。	開所2年目という事もあり、比較するデータも乏しく、資金的にも厳しい状況です。スタッフの増員により財務面も改善されますが、福祉人材不足により採用に結びつける為の課題の取り組みを優先してきたため外部評価の為の準備が出来ていませんでした。	区の助成などを利用して客観的なデータをもとに運営できる体制づくりに取り組んでいきたいと考えています。